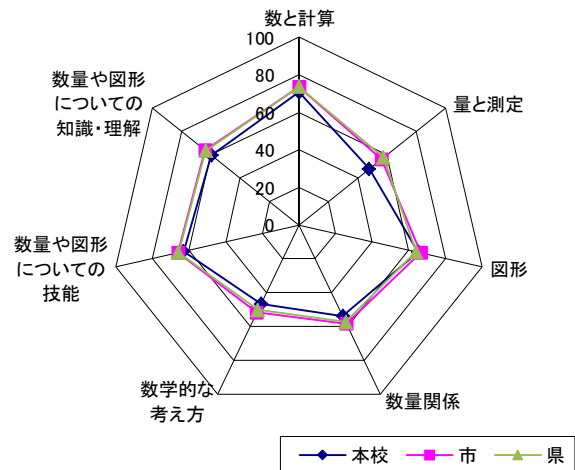


宇都宮市立平石北小学校 第5学年【算数】分類・区別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	70.8	73.6	73.7
	量と測定	47.9	56.2	57.7
	図形	65.2	66.5	64.2
	数量関係	53.9	58.4	57.5
観点	数学的な考え方	46.7	51.7	50.3
	数量や図形についての技能	63.1	66.1	65.9
	数量や図形についての知識・理解	59.6	64.0	63.5



★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<ul style="list-style-type: none"> 宇都宮市の平均をやや下回っている。 帯分数ー真分数の計算(同分母分数・繰り下がり)の問題については、72.7%で市の平均より8.5ポイント低くなっている。 小数(小数第1位)÷2位数の計算(割り切れるまで)の問題については、57.6%で市の平均より13.3ポイント下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の展開において、振り返りの時間を必ず設け、学習内容の定着を図る。 分数の減法、小数の除法の計算方法については、改めて確認し、計算ドリルの問題に繰り返し取り組めるようにしていく。計算が苦手な児童については個別指導を充実させていく。
量と測定	<ul style="list-style-type: none"> 宇都宮市の平均を下回っている。 1㎡の正方形の面積を1cm²の単位で表す問題については、18.2%で市の平均を24.5ポイント下回っている。 正方形のタイルの面積を求める問題については、39.4%で市の平均より20ポイント下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 面積の単位の換算、面積の求め方については、今後もアニメーションで示したり、自らが操作する機会を取り入れながら、学習内容の定着を図る。
図形	<ul style="list-style-type: none"> 宇都宮市の平均をやや下回っている。 ひし形を対角線で分けた図形が二等辺三角形になる理由を答える問題については、33.3%で市の平均を1.7ポイント下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 三角形や四角形の特徴について、正しく理解できるよう復習問題を取り入れていく。実際に作図し、三角形や四角形の性質についてじっくり考える機会も設けていく。
数量関係	<ul style="list-style-type: none"> 宇都宮市の平均をやや下回っている。 折れ線グラフから、イネの草たけののびを求め比較する問題については、24.2%で市の平均を5.9ポイント下回っている。 2つのグラフを比べ、発言が正しくないわけを説明する問題については、15.2%で市の平均を12.2ポイント下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 算数科の時間だけでなく、社会科の時間におけるグラフの読み取りの時間を十分に確保し、読み取れたことを自らの言葉で書くことを大切に指導していく。